

このホテルには、
 “ひとりでは生きられない人達”が集まる。
 勇気と自由の鍵を求めて――。

HOTEL SPLENDIDE
 ...THE LAST RESORT



Welcome to the HOTEL SPLENDIDE...

こわい愛 かわいい愛 あったかい愛

ホテル・スペンデッド

テレンス・グロス第1回監督作品 2000年ベルリン国際映画祭招待作品

トニ・コレット ダニエル・クレイグ スティーガン・トンプキンソン カトリン・カートリッジ

フィルムファースト&TOOフィルムズ提供 / レンダイトフィルムズ製作 監督・脚本(テレンス・グロス) / プロデュース(ビル・テイロル・ケネディ) / 撮影監督(キム・トリス) / 美術(アリン・ドミニク) / 編集(マイケル・エリス A.C.E.) / 衣装(ミシェル・ペドロサ) / 音楽(マーク・シムズ) / 操演(マイク・クーパー) / 監修(日本)三浦史 / 共同配給(マイク・クーパー) / 宣伝担当(ティム・スターツ) / 後援(ブリック・レンジャー・カンパニー) 

圧倒的な想像力とオリジナリティ、エスティックで ウィットに富んだ“愛の寓話”がここに登場する。



『トレインスポッティング』から『フル・モンティ』まで1990年代に世界中で旋風を巻き起こしたイギリス映画界が新世紀に臨んで、さらに刺激的でブラック、抜群のセンスを誇る、熱い作品を誕生させた。

短編『The Sin Eater』で世界中の映画祭における数々の賞を獲得し、キラ星のごとく頭角を現わしたトレンス・グロスの初めての長編劇場用映画。脚本も担当した彼は、愛と欲望がもたらす世界への反乱というモチーフを打ち出し、純愛から肉欲愛、歪んだ愛までさまざまな愛のかたちを、『テリー・ギリアムや『デリカテッセン』のジュネ&キャロを彷彿させる独特の映像世界で表現して見せた。

『シックス・センス』でアカデミー最優秀助演女優賞にノミネートされたトニ・コレットをはじめダニエル・クレイグ、カトリン・カートリッジ、ステイーヴン・トンプキンソンと個性豊かな顔ぶれが結集したおいしい逸品。毒とユーモア、人間賛歌のスパイスが効いた愛のフルコースをとくとご賞味あれ。

<ストーリー>

孤島にひっそりと立つホテル・スペンディッド。ここは知る人ぞ知る、完璧なる健康と美容、長寿を求める人たちが集う場所。今は亡き先代経営者ブランチェ夫人が編み出した厳格な規約を、滞在者とスタッフが守ることで“この世界”の調和が保たれていた。そこに、昔務めていた副シェフ、キャスが訪れたことから、欲望をもたないことで安定していた世界に波紋が広がっていく。次第に高まる緊張感のなかで、激動するホテルは凄まじいクライマックスを迎える…。



ようこそ

ホテル・スペンディッドへ

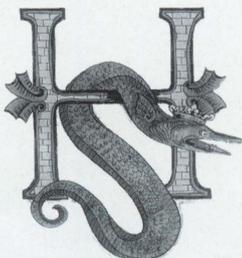
<キャスト>

副シェフ/キャス: トニ・コレット (『シックス・センス』)
 チーフ・シェフ/ロナルド: ダニエル・クレイグ (『エリザベス』)
 エスティシャン/コーラ: カトリン・カートリッジ (『奇跡の海』)
 支配人/デズモンド: ステイーヴン・トンプキンソン (『プラス!』)
 宿泊客/スタンリー: ヒュー・オコナー (『三銃士』)
 宿泊客/ローナ: ヘレン・マックロー (『インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア』)
 前支配人/モートン: ピーター・ヴォーガン (『理想の結婚』)

提供: マイビック+オンリー・ハーツ日本トラスティック
 共同配給: マイビック+オンリー・ハーツ
 宣伝協力: メディア・スーツ
 後援: プリティッシュ・カウンスル

監督・脚本: テレンス・グロス
 プロデューサー: イルディコ・ケメニー
 撮影監督: ギュラ・ハドス
 美術: アリソン・ドミニツ
 編集: マイケル・エリス、A.C.E
 衣装: ミシェル・バルネッタ
 音楽: マーク・ジャンツ

www.hotelsplendide.com



<テレンス・グロス監督から16のメッセージ>

- ① これは**愛**の物語である。
- ② 先代ブランチェ夫人の規約を吹き込んだレコードいわく、「不健康な腸は刺激を求める。だから**厳しい管理が必要**」。あるいは「**グルメ料理などというものは、中身は最悪**。消化器官に腫瘍をつくり肝硬変を引き起こし、痛風をもたらし、**腎臓結石**をもたらす」
- ③ 水恐怖症の宿泊人、スタンリーいわく「**不幸にも明るい面はある**」
- ④ キャスのモットー「**スパイスが**あってこそ料理、そして人生」
- ⑤ **哲学する鰻**は死を待っている。
- ⑥ 料理人ロナルドは先代の規約に乗っ取った海藻と鰻の**レシピ**を開発した。
- ⑦ **料理対決**はイタリアンvs鰻料理。
- ⑧ 対決が**理解**をもたらすこともある。
- ⑨ トリートメント・スーパーバイザーのコーラは**性器の奇形**に悩んでいる。
- ⑩ ブランチェ夫人の夫、モートンは**慢性便秘**であるばかりか、ポンテージ姿のコーラに鞭打たれながら懺悔する。
- ⑪ 光恐怖症の宿泊人、セルゲイは**全身黒づくめ**で覆っているが、コーラとの新鮮な会話を糧にしている。
- ⑫ マッチでつくられた巨大な鳥は自由と**純愛**の象徴。
- ⑬ キャスとロナルドが暴くブランチェ夫人の**秘密**。
- ⑭ 母を偏愛し、規約を護ろうとするデズモンドの**ノーマン・ベイツ**的変身。
- ⑮ **ボイラーの反乱**で究極の愛が深まる。
- ⑯ 結局この映画は、**こわくて、かわいくて、あったかい**最高の愛の物語である。

ギリアム、ジュネ&キャロを継ぐ、めくるめく映像の迷宮世界

2月24日(土)、OPEN!! ①12:55 ②3:00 ③5:05 ④7:10
 (終了日は劇場にお問い合わせ下さい)

パラダイスシネマ
 心斎橋アメリカ村BIG STEP 4F
 06(6282)1460

◆前売券¥1500発売中◆

劇場窓口、チケットぴあ、ローソンやテレコムランド心斎橋などの市内プレイガイドなどでお求め下さい。
 劇場窓口でお求めの方先着20名様は、シリアルナンバー入り特製ルームキー型キーホルダーをプレゼント!!